

平成28年10月31日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地		
日本工学院八王子専門学校	昭和62年3月27日	千葉 茂	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地		
学校法人片柳学園	平成25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111		
目的	主にマンガ・アニメ分野で活躍する人材の育成。デッサンやアナログ描画などの基礎描画力向上から、様々なデジタルコンテンツの制作に対応するデジタル制作スキルの強化にも注力する。また演出、業界に必要な知識や素養なども習得する				
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養	芸術専門課程	マンガ・アニメーション科	平成20年文部科学大臣告示第12号		-
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習
2年	昼間	1710	630	0	2160
					0
					0
					単位時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240	人の内数	288	人の内数	7	人の内数
				24	人の内数
				31	人の内数
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	<p>■成績表: 有</p> <p>■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定</p>	
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月21日～3月31日		卒業・進級条件	<p>進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること</p> <p>卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること</p>	
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日前に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動	<p>■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭</p> <p>■サークル活動: 有</p>	
就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 株式会社旭プロダクション、株式会社A-1 Pictures 株式会社サンライズ 有限会社アトリエムサ、株式会社エイタロウソフト 株式会社コロプラ 株式会社エイジック、ジェイエムケイ・プロダクツ 株式会社、株式会社ジー・シー・スタッフ</p> <p>■就職率^{※1} : 67.1 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 56.3 %</p> <p>■その他</p> <p>(平成27年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)</p>		主な資格・検定等	<p>ビジネス著作権検定 BASIC ビジネス能力検定 カラーコーディネーター検定 CGクリエイター検定</p>	
中途退学の現状	<p>■中途退学者 11名 平成27年4月1日時点において在学者 240名 平成28年3月31日時点において在学者 229名</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、志望進路変更、病気療養</p> <p>■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。</p>		■中退率 4.6 % (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)		
	ホームページ http://www.neec.ac.jp/				

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

マンガ・アニメ分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またマンガ・アニメ分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
松本 悟	一般社団法人 日本動画協会 専務理事	平成28年4月1日～平成29年3月31日	①
大藤 充彦	NHN comico 株式会社 comico事業部 事業プロデューサー	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
安藤 圭一	株式会社グラフィニカ デジタル作画部 アシスタントマネージャー	平成28年4月1日～平成29年3月31日	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
佐藤 充	日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
村上 信一	日本工学院八王子専門学校 マンガ・アニメーション科 科長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
武藤 敬子	日本工学院八王子専門学校 マンガ・アニメーション科 主任	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
柳川 和彦	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長	平成28年4月1日～平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間二回、前期授業および後期授業開始前に開催予定

(開催日時)

第1回 平成28年3月23日 16:00～17:00

第2回 平成28年9月21日 17:00～18:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会において、今後も更にデジタルツールを多用する意識が高まっていくなか、基礎的能力や知識はより大切になってくるとの意見があった。それを反映させるため「美術基礎1」の科目においては、デジタルツールによる作品制作においても基礎素養が隠れていかないよう基礎力向上の強化を図る方針とし、デジタル技法関連の授業へ繋げていく事とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を受けるにあたって、関連分野での実績や、知識、技術、制作管理能力に基づく指導力を有する講師の派遣協力が得られる企業を選定し、基礎力重視の教育方針で授業シラバスの作成から連携をとる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

アーティストスタジオがアニメ制作やデザイン業務で行っている作画・制作手法に基づいて、科目担当教員と企業派遣講師との間で基礎技術や基礎知識を主軸に意見交換を行い、その授業計画や評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画する。またデジタルツールの関連授業に対しても、その基礎として内容が連携でき、整合されているかを検証し授業展開する。派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
美術基礎1	コンテンツ制作における背景作画の基礎を習得することを目的に、アナログ描画技法を軸とし、デジタル描画技法の応用へ展開する。	アーティストスタジオ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成28年1月21日(土)11:00～15:30

蒲田キャンパスにて、アニメーション、CG教育指導者対象の指導者向け講座を開催。

メビウス・トーン代表 遊佐かずしげ氏による「2Dと3Dの教え方の違い」、スタジオコロリド代表 宇田英男氏、動画工房 平松岳史氏による「デジタル作画の可能性」、東京工科大学准教授 三上浩司氏による「スキル評価」などのモデルカリキュラム体験型講座を受講し、今後の製作環境のデジタル化とグローバルマーケット化へのように対応するか、また、求められる人材像と必要とされる基本的スキルなどを受講のポイントに、今後の教育方針検討の参考にした。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成28年8月31日(水)9:30～16:00

蒲田キャンパスにてマンガ・アニメーション科及び関連学科教員を対象に開催。

「高等学校における専門学校の捉え方の現状 / 高校生の学力の実態」をテーマに、(株)ベネッセコーポレーション 大場 茂氏、(株)進研アド 深堀 雅樹氏を講師に迎え、データから見る高等学校からの専門学校の捉え方、および専門学校における初年次教育の重要性などを考える勉強会を行った。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成29年3月を予定

関連業界の動向や変化に対応した教育内容や専門ツール、業界就職指導における課題や解決策などをテーマとした研修会。

蒲田キャンパスにてマンガ・アニメーション科教職員を対象に開催予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年3月を予定

教授法や学生指導における実例、解決策等を共有し今後の指導繋げるための研修会。

蒲田キャンパスにてマンガ・アニメーション科及び関連学科教員を対象に開催予定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3)教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4)学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5)学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受け入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8)財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、作品は卒業制作展に出展するなど、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生／IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畠 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榎原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9ヶ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他() 平成28年9月12日

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価、平成27年度の項目別の自己評価表
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程マンガ・アニメーション科) 平成28年度													
分類			授業科目名	授業科目概要			配当年次・学期	授業時数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		講義	演習	実験・実習・実技			校内	校外	専任	兼任	
○			プロダクションリテラシー	クリエイターとしての基礎素養から、専門分野ごとの制作手法や工程、主要組織、職種別の役割などを学びます。	1・前	90	6	○		○	○		
○			プロダクションワーク1	さまざまな作品に触れ、構成、コンセプトなどについてディスカッションやブレインストーミングを繰り返し、作品制作におけるプリプロダクション、プロダクション工程の理解を深めます。	1・後	90	6	○		○	○		
○			ワークショットプ1	年間を通して身につけた技術の成果を作品にまとめます。また専門分野ごとの特別講義、業界や企業研究、関連知識、作品研究などの講座も開かれます。	1・通	135	9	○		○	○		
○			美術基礎1	デッサンやクロッキーを通し基礎的な画力の向上を目指します。また、透視図法や人体の構造等について学び、より正確な描写力を身につけます。	1・前	90	3			○	○		○ ○
○			美術基礎2		1・後	90	3			○	○		○
○			制作基礎1	アニメーションやキャラクターデザイン・イラスト、マンガ制作の作画や、その関連技術の基礎を学びます。	1・前	90	3			○	○		○
○			制作基礎2		1・前	90	3			○	○		○
○			アニメーション制作1	デジタル作画技法の習得と共に、原画や動画、背景美術、彩色、撮影、映像編集などをアニメーション現場に即した内容でアニメーション制作の基礎を身につけます。	1・後	90	3			○	○		○
○			アニメーション制作2		1・後	90	3			○	○		○
○			キャラクターデザイン1	デジタル作画技法の習得と共に、オリジナルキャラクターのデザインから使用コンテンツを想定したイラスト、グラフィック制作の基礎を身につけます。	1・後	90	3			○	○		○
○			キャラクターデザイン2		1・後	90	3			○	○		○

	○	マンガ制作 1	デジタル作画技法の習得と共に、マンガ制作に必要なペンテクニックやトーンワークを中心にマンガ原稿作成の基礎理解を身につけます。	1 ・ 後	90	3			○	○		○	
	○	マンガ制作 2		1 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		プロダクションワーク 2	さまざまな作品に触れ、構成、コンセプトなどについてディスカッションやブレインストーミングを繰り返し、作品制作におけるプリプロダクション、プロダクション工程の理解を深めます。	2 ・ 前	90	6	○		○	○		○	
○		プロダクションワーク 3		2 ・ 後	90	6	○		○	○		○	
○		ワークショッピング 2	年間を通して身につけた技術の成果を作品にまとめます。また専門分野ごとの特別講義、業界や企業研究、関連知識、作品研究などの講座も開かれます。	2 ・ 通	135	9	○		○	○		○	
○		美術 1	デッサンやクロッキーを通し基礎的な画力の向上を目指します。また、透視図法や人体の構造等について学び、より正確な描写力を身につけます。	2 ・ 前	90	3			○	○		○	
○		美術 2		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		アニメーション制作 3	アニメーション制作における工程別の技法演習や作品制作を通して、テクニックや感性をより実践的かつ専門的に制作を中心に身につけていきます。	2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		アニメーション制作 4		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		アニメーション制作 5		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		アニメーション制作 6		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		キャラクターデザイン 3	キャラクターデザイン制作に工程別の技法演習や作品制作を通して、おけるテクニックや感性をより実践的かつ専門的に制作を中心に身につけていきます。	2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		キャラクターデザイン 4		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		キャラクターデザイン 5		2 ・ 後	90	3			○	○		○	
○		キャラクターデザイン 6		2 ・ 後	90	3			○	○		○	

○	マンガ制作 3	マンガ制作における工程別の技法演習や作品制作を通して、テクニックや感性をより実践的かつ専門的に制作を中心に身につけていきます。	2 ・ 後	90	3			○	○			○	
○	マンガ制作 4		2 ・ 後	90	3			○	○			○	
○	マンガ制作 5		2 ・ 後	90	3			○	○			○	
○	マンガ制作 6		2 ・ 後	90	3			○	○			○	
合計		30 科目											1710 単位時間(78 単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1170時間(60単位)取得および選択科目を540時間(18単位)以上取得し、合計1710時間(78単位)以上取得すること	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。